

## 議会報告会実施報告書

1 開催日時 平成25年3月29日 18時00分～20時03分

2 開催場所 当別町総合保健福祉センターゆとろ 多目的ホール

3 出席議員 議長 高谷 茂 会長 後藤 正洋 副会長 竹田 和雄  
柏樹 正 岡野 喜代治 神林俊一 臼杵 英男 桐井 信征  
島田 裕司 市川 正 小早川 孝男 石川和栄 稲村 勝俊  
渋谷 俊和 宮司 正毅 古谷 陽一 山田 明 (17人)

4 参加者 46人(33町内会)

5 事務局 局長 滝本 隆志 次長 五十嵐 一夫 主幹 小川 義則 係長 浦島 卓

6 実施内容 開会・開会挨拶 4分  
議会報告 37分(議会報告に対する質疑なし)  
懇談 101分  
閉会挨拶・閉会 19分

## 7 報告会の概要

(1) 議会報告(報告会資料 6ページ)

### ① 3月定例会報告

議案の議決状況(高谷議長)

平成25年度予算審査(神林予算審査特別委員会委員長)

新年度予算の概要(臼杵総務文教厚生常任委員会委員長、市川産業建設常任委員会委員長)

### ② 議会改革の取組み(島田議会運営委員会委員長)

### ③ 政治倫理条例(後藤副議長)

## (2) 懇談

議会 今後の議会報告会はグループ分けをして、3月定例会後と9月定例会後の年2回の開催とし、必要であれば3回目を考えている。他の議会でも議会報告会が多く開催されており、懇談会・懇話会などとして、住民の要望を聞く会になっている。

町内会 開かれた議会の始まりとしては、格好の場ではないかと考える。今後は、議員個人に願い事をするのはやめるべきと思う。以前、議員の報酬を日当日給にしたらどうかと発言したが、報酬額は自治省で決めているので出来ないと町側から回答された。

議会 議会改革の取組みで、議員定数と報酬の問題は、意見を聞く場を持ちたい。

町内会 町内会館の屋根や壁が傷んでいる。今年の新規事業で全町内会館の改修を行うのか。全部の会館を救ってくれるような方法はあるか。

議会 予算の執行権はないが、行政がどう取組んでいくのか審議をしているので、細かい部分で分からない事については、後日回答させていただきたい。町内会それぞれに状況が違い、緊急性があり、早急に手を掛けなければならない部分での補修である。今年の600万円については、年数が相当経っていて、耐震構造上問題がある所からまず取り組むもの。今後、計画を持って続けると町側の答弁であったので、後日正確に報告したい。

町は各町内会からの要望を聞いて、優先順序を決めて対応していくと思う。

町内会 雪対策協議会だが、当初は幹線道路と生活道路との2区分だったが、いつのまにか

主要幹線が出てきて、幹線、生活道路、最近はバス路線の区分が出てきている。昨年度の総会で排雪と除雪の概念を聞いたが、ロータリーで空き地に飛ばす、重機で押す事も排雪であると言われた。郡部で同様の事を行っている事はどうか。年末に、事務局から何月何日から排雪をしますとの話があったが、それは役員会で決める事であって、事務局と協議しながら行わなければならない事である。除排雪費が2割増えたが、現実には、業者が減る、時間が掛かる、雪捨て場が遠くなるなど、町内会長には苦情しか入ってこない。

町内会 新興住宅地であり、年2回の排雪では地域から多くの苦情が来る。最低3回は当初から排雪費も見てもらえないか。この事は町にも依頼するが議員にも理解してほしい。

議会 議員もそれぞれの町内会の除雪の状況は見て回っているが、軽自動車1台が通るのがやっとで、両サイドが壁になっているなど異常な状況であった。部局には全体的にしっかりやってほしいと伝えており、改善しなければならないと各議員も思っている。代表質問の中で、防災対策に関連し雪の問題について質問しているが、軽自動車が交差点で回れない状況が見受けられた。除雪体制の強化はしっかり取り組まなければならない問題と思うので強く要請していきたい。

町内会 このように議員が一同に関して情報を流して貰えるのは、貴重な機会と思うし、今後とも開催してほしい。雪捨て場の問題だが、どの程度の台数が走っているか把握しているか。町道材木沢一号線や田の沢線など交通障害になっている。雪捨て場を1か所に集中せず分散できないか。あれだけ大量の雪が解けると、川に泥水が長期間流れると思う。川幅も狭く、沿線の農家は水田に水を揚げているので、長期的に冷や水になると心配している。町場では融雪剤を撒いており、それが川に流れて農作物に影響があるのではないか。川の水を使って花の栽培をしている農家もかなり心配している。出来れば来シーズンは雪捨て場を分散してほしい。

議会 今回、雪捨て場が材木沢に移った時に、直ぐ産業建設常任委員会に報告を受け、対応策や春先の雪解け水について議論されている。生活道路の排雪を3回にしてほしいとの事であるが、町内会に負担をしていただいている事など、部局とも更に検討していかなければならない。従前、下川の堆積場を利用していたが、河川を管理する石狩川開発建設部から堤防の高さまでと指導を受け、急遽、上当別の土取り場となった。町は今後も使用したい考えだが、分散も踏まえて検討していかなければならない。材木川の河川工事は、道の所管事業だが、道とも協議のうえ事業を進めてもらうよう、関係部局と相談したい。来年に向け色々な意見を伺ったので、議会として注目していきたい。冷たい雪解け水がずっと流れ続けると作物にどう影響するか、融雪剤の影響をどう考えるか、一年経過しなければ分からない。今までの所を広く使えるかどうか道との協議も必要で、町がどういう方針で対応するのか今から見極めて協議していく事が大事。お話いただいた要望について来年度どう出来るか、春の融雪時期を向かえて洪水にならない様な対策をどう出来るのか注視していきたい。逐次、町内会長さんを通じて、こういう風に来年度に向けて進んでいきますとの報告をさせていただきたい。〇〇会長の示された路線の問題については、議会も調査させていただきたい。公平に実施出来るように、行政でしっかりとやってもらわなければならない。対策協議会とも連携を進めていきたい。

町内会 今年の冬は吹雪で特に酷かった。道路を何とか吹雪から回避できるような事が出来ないだろうか。当別町の話だけではなく、道道の話でもあると思うが、当別町で出来るものがあれば、何とか手を打ってもらえないか。雪対策協議会の話だが、幹線道路と生活道路の区別で、何で生活道路なのか、幹線道路で良いのではないかと路線がある。これはどこで決めて、変更は可能なのか。会長になって2年なので、それ以前に決められた事について伺いたい。

議会 抜本的に道路自体を吹雪からどう守るか、町単独で出来る事ばかりではない。今後

町とも協議をしたい。路線についても、全て精査をして、こういう事で生活道路とその他の路線に区別され、どういう対応をするのかを調査して回答したい。そこが明確にならないと公平性が保てないと思うし、その点は行政側から回答を受けて報告したい。

町内会 町内会の統廃合、分割について話をしたい。この場で賛否を問うものではなく町内会の悩みについて聞いてほしい。25年3月1日現在で、行政区の中で一番少ないのは38世帯で、一番多いところでは507世帯、1票の差では無いが、13倍の差がある。一番高齢化率の高い所は、65歳以上が、51%で、15年後を計算すると、多くの行政区で50%を超える。町内会の分割や統合の見直しの検討が必要。もう一点重要な事は行政や諸団体から、役付の人選をして出してほしいと依頼がある事で、65歳定年引き上げや、高齢化によって町内会に人選する方が居ない実態である。例えば、民生児童委員は必ず出さなければならない、最近では福祉委員は複数制になって2名推薦してほしいなどかなりの人数を町内会から推薦する必要があり実情ではかなり難しい問題であり悩みである。

議会 おそらく各町内会長さんは、同じ悩みを持っていると思う。議員の立場として町内会にどうこう言える立場ではないが、町を維持していく中で、基礎単位の一つである町内会をどう維持していくのか、一個人の議員として関心をもたなければならない。皆さんの思いや悩みは理解したので、町の色々な役員を各町内会にお願いする時に、どういう形が良いのか議会の中でも検討していかなければならない。これから役員を選ぶ時期になって大変重い発言だと思うし、暮らし易い町の観点から大きな問題だと思う。行政と町内会の関係は行政から要請されるものが極めて沢山あるのが現実であり、こういう話は身に詰まされている議員もいると思う。これからの活動の中でこういう視点を外しては、当別の町づくりは出来ない事を、それぞれの議員で自覚が出来たと思う。一人二人の考えで出来るものではないが、これからの当別が住みよい町づくりの為の大きな視点だと思うし議員全員がそのように感じていると思う。

町内会 平成18年には町営住宅144戸が満杯であったが、昨年一気に20戸減ってしまったので理由を聞くと、この大雪でどうしようもないとの事であった。町営住宅の場合は皆さん勘違いされているが、排雪費負担で町営住宅の排雪は行わないので、この大雪にどうしようもなく札幌へ戻る人も多い状況である。町営住宅が今のままの状態では、とても人の住める状態では段々無くなるのではないかと思うが、これから町として町営住宅をどのように捉えているか問題意識を持ってもらいたい。

議会 議員個々に受け止めていただいて、今後、その趣旨に沿って活動していきたい。行政との対応の中で、ある程度の答えが出れば回答させていただきたい。

町内会 以前、町長にも話したが、役場職員、現在190名、約200名の内、40名近くが町外から通っている。現実には縛る事は出来ないと認識しているが、吹雪だとか災害洪水など有事の場合に庁舎に来られないという事は大変な事態だと危惧をしている。新しく採用される人は、出来るだけ当別に住んでもらう事で、家族も持つし子供も増え、人口増に繋がる事になるので、強制は出来ないと分かっているが、何かの機会にお互いに考えていく必要があると思う。

議会 危機管理上からも、急がある時には直ぐに役場に集合できる状況は、常に作っておかなければならないと思うが、一方でそれを強制するとは出来ない現状があり、お願いしていくしかないのかと思う。各議員もそのように思っていると思うので、個々の活動の中で反映させていただきたい。今日は、丸2時間休憩も取らずに、皆さんと貴重な意見交換をさせていただいた。この報告会は将来的には何人かで責任を持って、グループで各町内会に入っていく事が最終的な目標であり、今日は第一歩が始まったと思っている。